

5 - 2 東海地方における地震活動の変化 Change of Seismic Activity in the Tokai District

気象庁地震予知情報課
Earthquake Prediction Information Division
Japan Meteorological Agency

第1図は東海地方における最近5年間(1993年5月1日～1998年5月10日)のM3.0以上、深さ60km以浅の地震活動の変化を示したもので、また、第2図は1996年4月からM2以上の地震活動を見たものである。これらの図に示したA、B、Cの3域の地震活動に見られる主な変化は次の通りである。

A領域：1997年に入ってから、北端の領域でM3以上の地震が少なくなっていた。M2以上では、1997年後半から、低下傾向がみられる。ただし、最近では1998年4月22日のM5.4の三重・岐阜県境の地震(岐阜県美濃中西部)にともなう余震活動によって、地震個数は増えている(第1図)。

B領域：全体的には落ち着いた状態である(第1・2図)。1997年11月～1998年4月の期間に、B領域で発生した地震は6個で、1989年からの累計は108個である^{*1)}。

C領域：新島・神津島付近では、1996年末から、M3を越える規模の集中的な地震活動はあまり発生していない。1997年11月4日に小田原付近の地震活動があったが、1998年4月の伊豆半島東方沖の活動(別項「伊豆半島周辺の地震活動」参照)を除くと、この北側の領域では活動が低下している(第1・2図)。

第3図に、山梨県東部の通常地震活動の活発な地域から神奈川県西部の地域にかけての領域の地震の積算回数をマグニチュードの下限を変えて示してある。震源決定されたすべての地震の回数では、観測網の変更により、昨年暮れからむしろ個数が増えているが、M1.5やM2.0以上ということで下限を変えると静穏化の始まる時期が異なって見える。

参 考 文 献

1) 気象庁地震予知情報課：東海地方における地震活動の変化，連絡会報，59(1997)，293-296

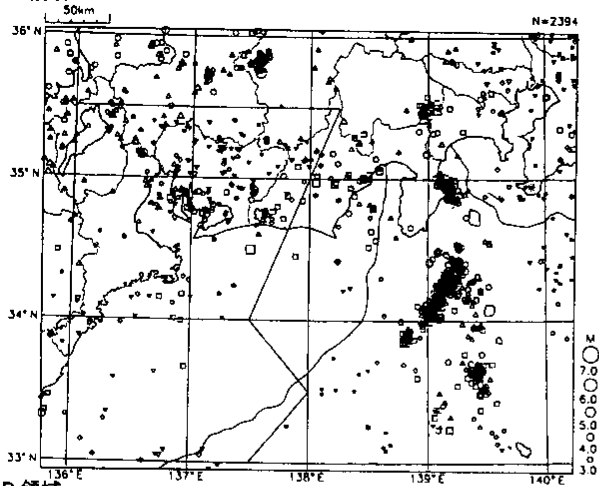
* 1) これら6個の地震は以下の通り。1989年7月から1997年10月までの地震は、連絡会報第44～59巻「東海地方における地震活動の変化」の末尾に掲載。

No.	年	月	日	時	分	M	深さ	最大震度	地域
103	1997	10	20	09	13	3.1	32.6		静岡県中部
104		11	28	13	47	3.0	32.4		静岡県中部
105	1998	1	18	19	35	3.1	19.2		静岡県中部
106		2	5	20	36	3.1	15.5		駿河湾
107		4	5	10	53	4.4	12.7	2	山梨県中西部
108		4	15	18	54	3.1	30.5		駿河湾南方沖

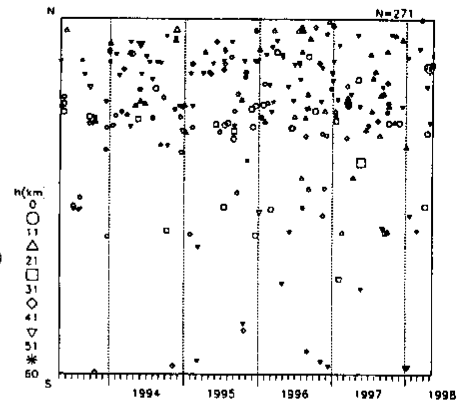
東海地方における地震活動の変化—1993年5月1日~1998年5月10日 $M \geq 3.0$ depth 0-60km

①震央分布図

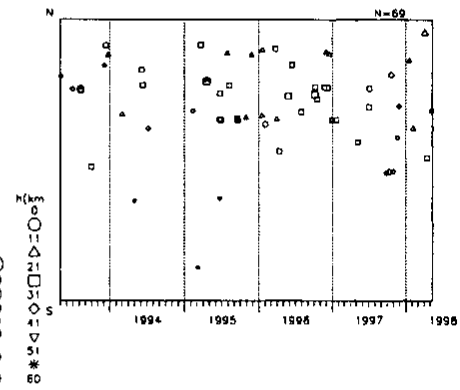
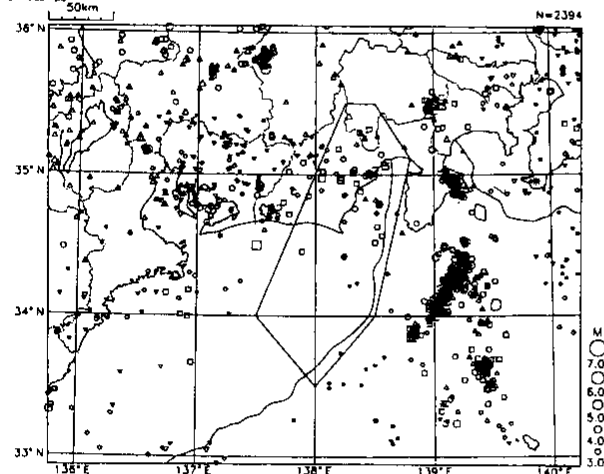
A 領域



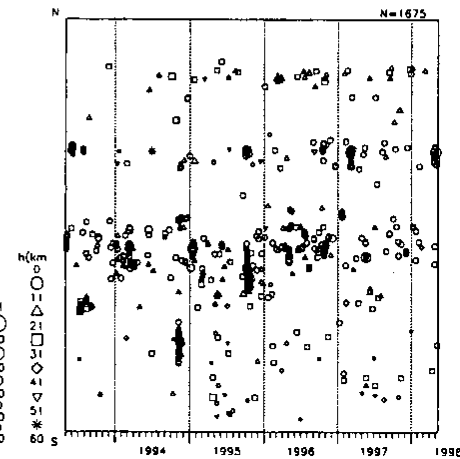
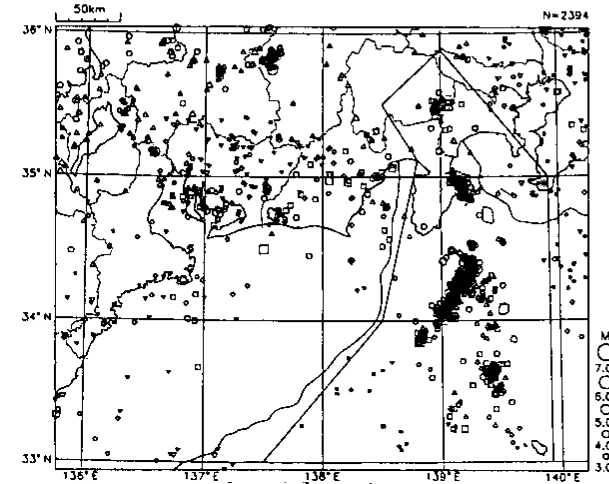
②時空間分布図



B 領域



C 領域

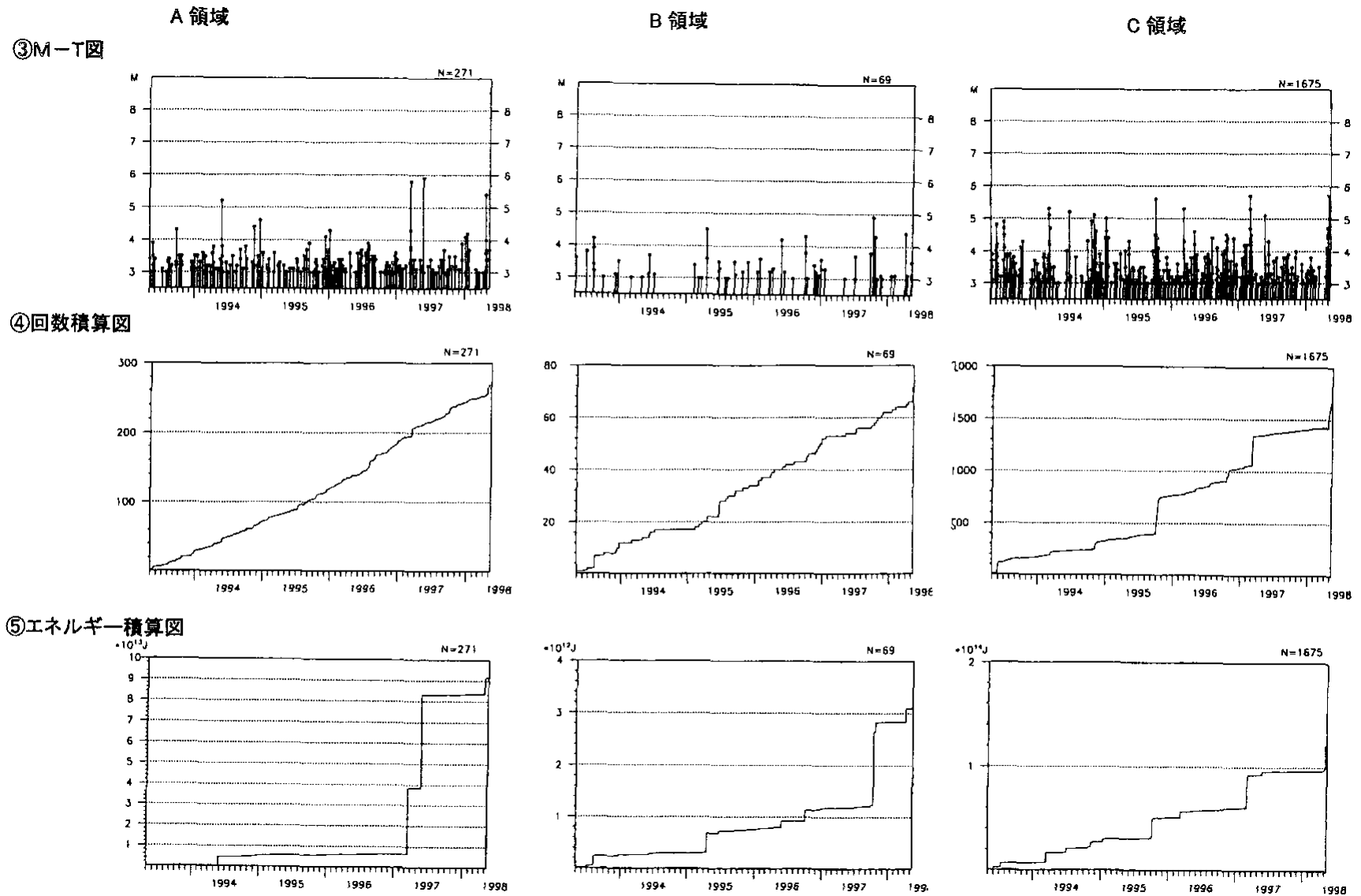


第1図 東海地方のA,B,C領域における最近5年間の地震活動(1993年5月1日~1998年5月10日: $M \geq 3.0$, 深さ60km以浅)

震央分布, 時空間分布, M-T図, 地震回数積算図。

Fig.1 Seismic Activity in the A,B,C regions in the Tokai District during 5 years (May 1, 1993-May 10, 1998: $M \geq 3.0$, depth 60km).

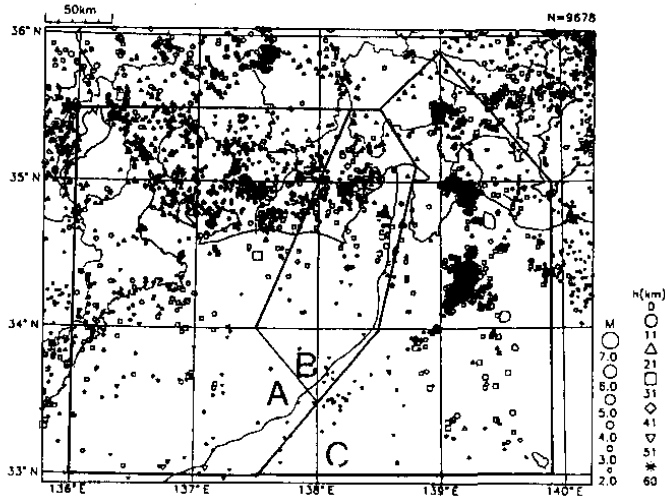
: Epicentral distribution, : space-time plot, : M-T diagram, : cumulative number of earthquakes.



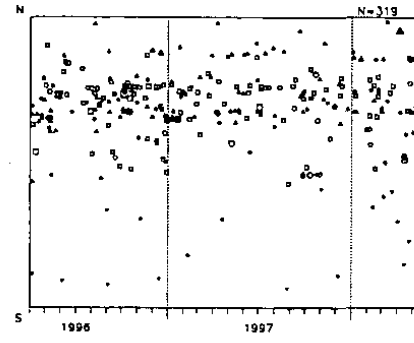
第1図 つづき
Fig.1 (Continued)

東海地方における地震活動の変化 1996年4月1日~1998年5月10日 M \geq 2.0 depth 0-60km

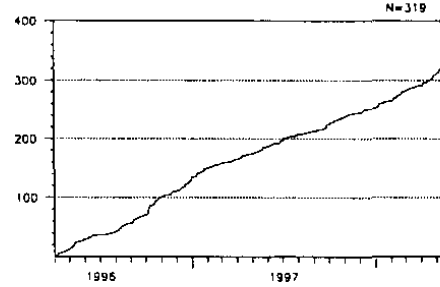
震央分布図



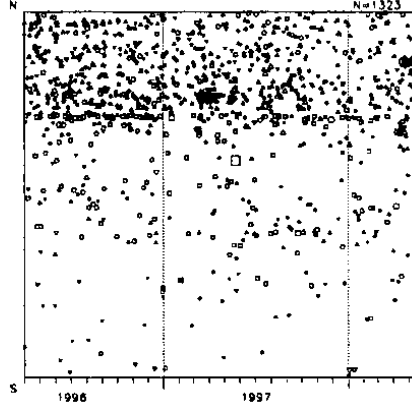
B領域
時空間分布



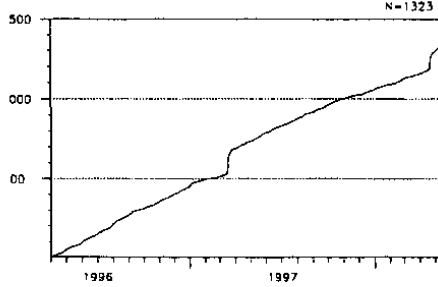
回数積算図



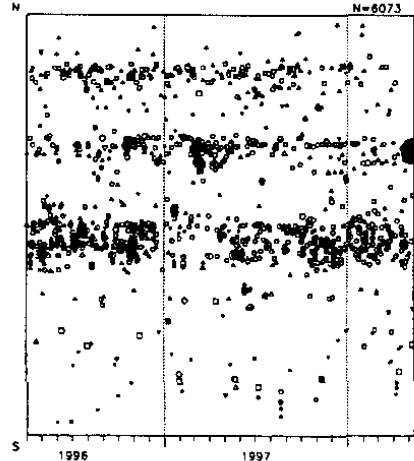
A領域
時空間分布



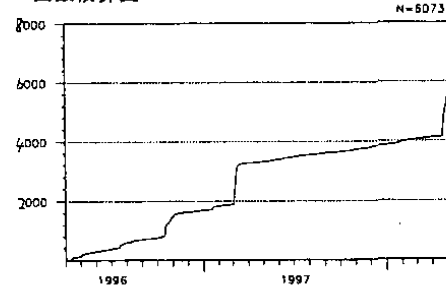
回数積算図



C領域
時空間分布図

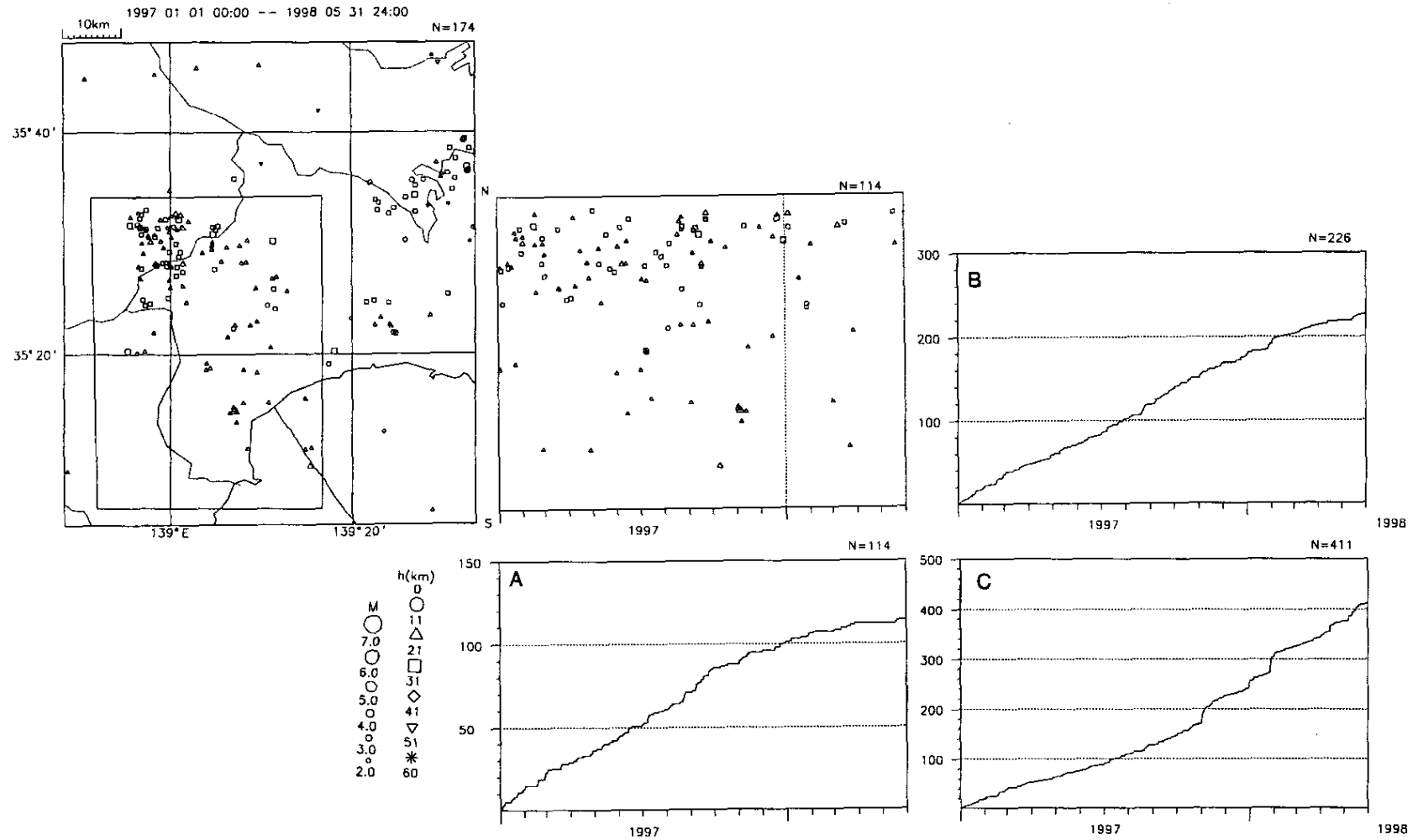


回数積算図



第2図 東海地方のA,B,C領域における最近2年間の地震活動(1996年4月1日~1998年5月10日:M2.0以上,深さ60km以浅)。震央分布と各領域の時空間分布,および,地震回数積算図。

Fig.2 Seismic Activity in the A,B,C regions in the Tokai District from April 1, 1996 through May 10, 1998 (M \geq 2.0, depth \leq 60km). Epicentral distribution, and space-time plot and cumulative number of earthquakes for each region.



第3図 山梨県東部から神奈川県西部の地震活動（1997年1月1日～1998年5月31日：M 2.0，深さ60km以浅）。震央分布と矩形領域の時空間分布，および，A：地震回数積算図（M 2.0），B：地震回数積算図（M 1.5），C：地震回数積算図（すべて）。

Fig.3 Seismic Activity in the eastern Yamanashi prefecture and western Kanagawa prefecture from January 1, 1997 through May 31, 1998 A:(M 2.0, depth 60km). Epicentral distribution, and space-time plot and cumulative number of earthquakes A:(M 2.0), B:(M 1.5), C:(all) in the rectangular region.